

福島の子どもたち香川へおいでプロジェクトは

放射能汚染の不安の中で暮らす福島やその近県の子どもたちに、自然の中でのびのびと子どもらしい時間を過ごしてもらおうと、2011年7月に発足。2011年夏休みには39名、冬休みには67名、2012年夏休みには40名の福島の子どもたちと保護者を11泊12日間、香川に迎えました。



また、年間を通じて3軒の「おいでハウス」に一時保養のご家族を受け入れるとともに、移住してきたご家族の就労・就学・就園などの支援も行っています。さらに連続講座「福島と向き合う講演会」も随時開催しています。

守る つなぐ 広げる

一人でも多くの福島の子どもたちを一日でも長く放射能から守る。

福島と香川をつなぐ架け橋となり、息長く支援を続ける。

知識と関心を高めあい、すべての子どもたちの未来を守る輪を広げる。

会費

【一般会員】年会費2,000円
【賛助会員】1口5,000円(何口でも)(対象:個人・法人・団体・企業)
賛助会員の方は、ブログその他印刷物にて、ご支援くださっている旨、広報いたします。なお、匿名をご希望の場合にはお申し出ください。

会費ご寄付等の振込先

百十四銀行本店 (普通)3124378
ゆうちょ銀行 店名六三八 (普通)0677642
福島の子どもプロジェクト
振込の記録はカタカナのご氏名だけとなりますので、お振込み後、ご連絡先やメールアドレスなどをご一報いただければ幸いです。

ご支援・ご協力ありがとうございました!

当プロジェクトの活動は、多くの方からのご寄付とともに、赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」の助成金によって支えられています。2012夏休み保養プログラムには以下の団体・企業からのご支援・ご協力と200名以上のボランティアの皆さまのご参加をいただきました。心よりお礼申し上げます。

【2012夏休み保養プログラムにご協力くださった企業・団体】

香川県、香川県教育委員会、綾川町、高松北消防署、高松南消防署、香川県立屋島少年自然の家、柏原溪谷キャンプ村TaTuTaの森、綾川町商工会、綾川町青年会、綾川町さめきうどん研究会、かがわ総合リハビリテーションセンター、栗林公園観光事務所、香川県消費生活協同組合(県庁食堂)、綾川町羽床・牛川地区ふるさと夏祭り実行委員会、高松市消防職員協議会、高松市ボランティア・市民活動センター、香川県社会福祉協議会、香川県サスキタクシー協会、国際ソロプチミスト高松、高松北ロータリークラブ、NPO法人ナチュラルフェイス、NPO法人エリック・スポーツ・プロジェクト、NPO法人わははネット、フェスティバルFUKUSHIMA!、阿波酔連、(有)綾南交通、大塚製菓、福島交通(株)、東交バス(株)、四国フェリー(株)、山越うどん、たも屋、小豆島旭屋、小豆島シーサイドホテル松風、稲葉社、(株)中央、中国銀行高松支店、大林養鶏所、焼肉おきちゃん、小規模多機能型居宅介護施設川、K2ワークス、アートバックYOU、ヘアーストレジャー、出雲大社高松分祠、(有)木村屋製パン工場、お米の川西、コープかがわ太田店

【募金箱設置協力店】

かね荘、イタリアン居酒屋HACHI、cafe orange jam & surf、こにしたご焼き、古遊茶、MACCA、池田お好み焼き店、GRAPH、ルビー商会、そら茶蔵、焼肉大寿、井筒屋敷、カフェ・セゾン、ファイブ・ベニーズ、(有)大山牧場(うしおじさん)、ティファニー、ボックスギャラリー・メイクメリー、かえるちゃんカフェ、阿叶、カフェ草庵一人静、松崎たご焼き店、宮崎町薄皮たい焼店、高松ターミナルホテル、ル・ミエル・シュクル、コーヒービーンズショップ・アロパー園分寺店、ルコルシ、ヤマザキショップ飯山東坂元店、hana-hiyo、阿部食堂、Mei-PAM

【賛助会員】

徳武産業(株)、高松北ロータリークラブ、小豆島環境と健康を考える会、三木町を考える会、NPO法人わははネット、日本聖公会高松聖ヤコブ教会、香川連帯ユニオン、Peace of New Earth実行委員会、東交バス(株)、(株)フクシン、(株)あっとん・さめき鍾市場、(有)松本書店、共楽湯(細川高照)、(株)いやさか、(有)藤重電機、(有)池田モーターズ、ホリデー車検高松店、ヤーマン・ジャパン、門美容室、大谷美容室(大谷和子)、藤井節子、中島秀一、神内民子、中村聖二、木村ゆみ、石橋真知子、辻信子、藤田久隆、大道節子、羽床隆、真鍋未希、勝元裕、芝原千鶴、対馬健三、川田泰雄、松原ひとみ、西本幾代、高倉真代(他匿名希望5名)

以上 敬称略・順不同

★前回のニュースで徳武産業(株)様のお名前間違っていました。お詫びして訂正いたします。

2012夏休み保養プログラム

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業



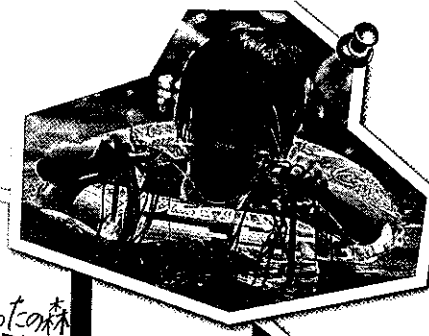
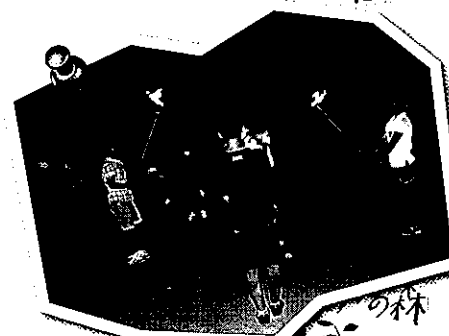
福島の子どもたち 香川へおいで プロジェクト

★香川の山と海で夏休み★

8月9日～20日(11泊12日)
柏原溪谷キャンプ村コテージ(3泊)
県立屋島少年自然の家(7泊)
注:車中泊1

福島から30人の子どもたち(1歳から15歳まで)と

10人のママ・パパたち
計40人がやってきました。



事務局: 760-0022 香川県高松市西内町7-25
TEL/FAX: 087-813-0715 E-Mail: ZVF05007@nifty.com
http://fukushimanokodomo.ashita-sanuki.jp/

Facebook や ツイッターでも
情報発信中!



2012 夏休み保養プログラム

参加者：福島市、郡山市、いわき市、須賀川市、伊達市、白河市、喜多方市から、
幼児9名、小学生19名、中学生、高校生各1名、母親8名、父親2名の計40名。

8/9 送迎夜行バスで福島発(車中泊)

8/10 1000キロの旅の疲れも見せず綾川町着。

町役場前で歓迎セレモニー。

お昼は山越うどんさんのお接待。

柏原溪谷キャンプ場では歓迎バーベキューの夕食とキャンプファイアー

8/11 沢遊び、鮎のつかみ取り。

取った鮎は塩焼きにして「おいしかった!」

夕食は消防士さんの炊き出しカレー

8/12 綾川町さぬきうどん研究会の皆さんと、

地元のそば粉でそば打ち体験。

お昼はしっぽくそば。

夜は綾川町羽床上・牛川地区ふるさと夏祭りにご招待。

8/13 屋島少年自然の家へ移動の途中、滝宮天満宮でお参り。

お昼は「たも屋」林店で大好きなうどんにご満悦。

8/14 高松北消防署見学。お昼は県庁食堂のスペシャルサービス。

県庁展望フロアから瀬戸の海と高松の街を眺めたあと、

「香川ってどんな県?」のお話を聞く。

屋島少年自然の家にもどってからカヤック作り。

夜は体育館でスポーツ大会

8/15 カヤックで海へこぎだす初体験

8/16 体育館でスポーツ、プール遊び

8/17 小豆島へ(フェリーの中で朝うどんのお接待)。

鹿島海水浴場で大はしゃぎ。スイカ割りも。

エンジェルロードを眺めて記念撮影。

8/18 午前はNPO法人エリック・スポーツ

プロジェクトの子どもたちとスポーツ交流。

午後、お母さんたちは栗林公園へ(ご招待)。

8/19 お母さんたちは産直市で買い物、おいでハウス見学、

道の駅源平の里・牟礼。

子どもたちは体育館、小プール。

午後はプール遊び。

夜はお別れキャンプファイアーと

阿波酔連の皆さんの出張 阿波踊り。

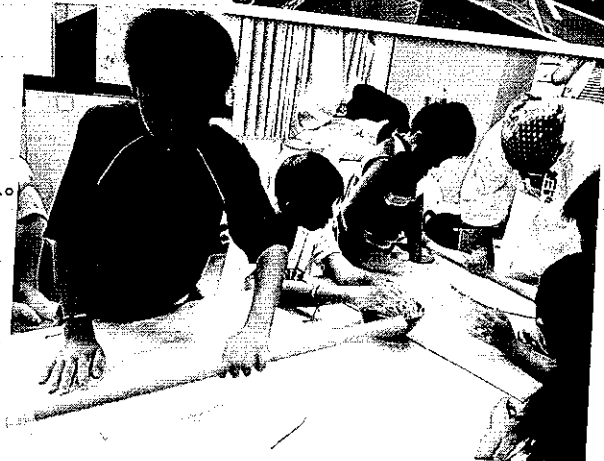
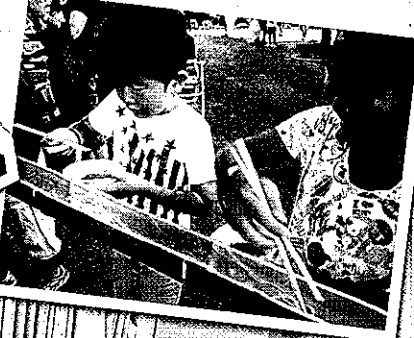
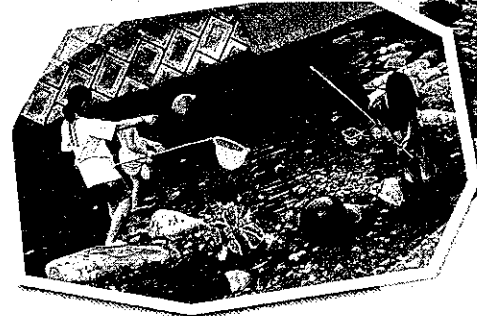
初めての行列体験で
おいしいうどんに感激★

流しそうめんにも大喜び



消防士さん
カッコいい!

鮎とれた!



大きな家族のように...

今回は、小学4~6年生の男の子が多かったため、
とてもにぎやかでしたが、
そのやんちゃな男の子たちが
小さい子にはとてもやさしいのです。
これは幼児から中高生まで受け入れている
当プロジェクトならではのよさです。
また、お母さんたちも、自分のお子さんだけでなく
よその子も叱ったり、面倒を見たり、
まるで大きな家族のように過ごした12日間でした。



福島と向き合う

当プロジェクトでは、NPO法人・市民放射能測定所
福島・理事長の丹治宏夫さん(5/13)、飯館村の酪農家・
長谷川健一さん(6/16)らを迎え「福島と向き合う講演
会」を開催してきました。また、10月8~10日には福
島を訪ね、参加者さん、行政機関、現地支援団体など
から現地の状況を伺うとともに、今後の連携・協力を
お願いしてきました。

現地では駅前や道路など市街地では放射線の空間線
量が下がっていますが、公園や側溝などでは依然高く、

放射性物質が減っているというよりは移動しているとい
う印象でした。また、学校給食の食材についても放
射線量の測定はされていますが、その精度について不
満を感じておられる方も多いようです。参加者の子
どもさんの中にも甲状腺検査で小さな異常を指摘され
た子がいるなど、多くの保護者が子どもたちの健康への
影響について大きな不安を感じておられます。

私たちは今後もこうした現地の状況やニーズをき
くと把握しながら、息の長い支援活動に取り組んでい
きたいと思います。(伊藤 洋)

2012年度 前期収支報告(4月~9月)

(夏休み保養プログラム・「おいでハウス」事業他)

【収入】		【支出】	
前年度繰越金	328,655円	交通費	1,327,914円※4
寄付	1,084,651円	食料費	747,371円
会費	563,000円	設営・備品費	560,668円
助成金	1,000,000円※1	光熱水費	208,417円
負担金収入	393,160円※2	研修費	155,707円
借入金	300,000円※3	通信費	129,185円
収入合計	3,669,466円	消耗品費	113,810円
		保険料	104,041円
		印刷費	101,667円
		宿泊費	22,200円
		会議費	2,820円
		雑費	33,945円
		支出合計	3,507,745円
		次期繰越金	161,721円

※1: 赤い羽根「災害ボランティア」NPO活動
サポート募金「助成金288万円のうち初
回繰入金

※2: 参加費、おいでハウス光熱水費負担金等

※3: 助成金中間金の振込後、返済予定。

※4: 送迎バス借上げ料、おいでハウス滞在
者交通費補助

福島と向き合う

2012夏休み企画には、高校生から70代まで、
約200名のボランティアさんのご協力をいただきました。
10日間も泊まり込んで子どもたちの世話をしてくれた九
州の女子大生は「最後の日は別れがとてつらかった。子ども
たちがとても可愛くて、教師になりたいという気持ちがあります強
くなりました」とのこと。
今回の保養プログラムは気候のいい春休みに計画してい
ます。なお、「おいでハウス」での受け入れは年間を通じ
て行っており、来られたご家族をサポートしてくださる
ボランティアさんも募集しています。

福島子どもたちと出会い、
福島のこともう他人事とは思えなくなった
人たちの輪は、さらに広がっています。
どうぞあなたも仲間に加わってください。



福島の子どもたち香川へおいでプロジェクト



2012年8月

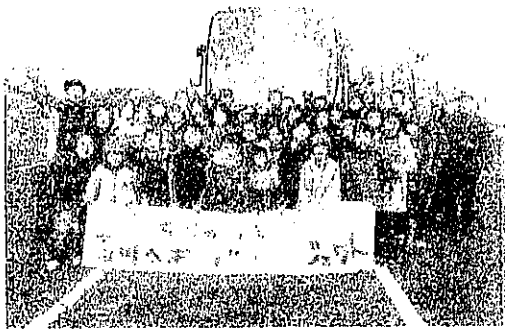
事務局 〒760-0022 高松市西内町7-25
TEL/FAX:087-813-0715 ZVF05007@nifty.com
<http://fukushimanokodomo.ashita-sanuki.jp/>

振込先:百十四銀行本店(普通)3124378
ゆうちょ銀行 店名六三八(普通)0677642
福島の子どもプロジェクト

福島の子どもたちに

香川での夏休み、冬休みを

放射能汚染の不安の中で暮らしている福島の子どもたちに、自然の中でのびのびと過ごしてほしい…そんな思いで、当プロジェクトは昨年7月に発足しました。たくさんの方のご支援とボランティアのご協力のおかげで昨年夏休みには39名の福島の子どもとお母さんたちを五色台少年自然センターに、冬休みには67名をみろく自然公園などに迎えることができました。



「おいでハウス」で春休み

庵治、牟礼に続き、高松市伏石町にも大家さんのご好意により「おいでハウス」が誕生し、これら3軒の「おいでハウス」には、春休みから連休にかけ計14家族46人を迎えました。3月29日にはさぬきこどもの国(香南町)、4月1日にはドングリランド(西植田町)で、のびのびと香川の自然を満喫し、移住しているご家族とも交流しました。このように「おいでハウス」では年間を通じて一時保養のご家族を受け入れています。



福島と香川をつなぐ

今年2月には、昨夏、昨冬の企画に参加されたご家族が大きな決意をして、ご一家で高松に移住して来られました(裏面をご覧ください)。

「福島に残るのもつらい、離れるのもつらい」…そんなつらい選択を強いられている福島の人たち…そのどちらの選択をも支えるために、これからも福島と香川をつなぐ支援活動を続けていきたいと思えます。

どうぞあなたも仲間に加わってください。

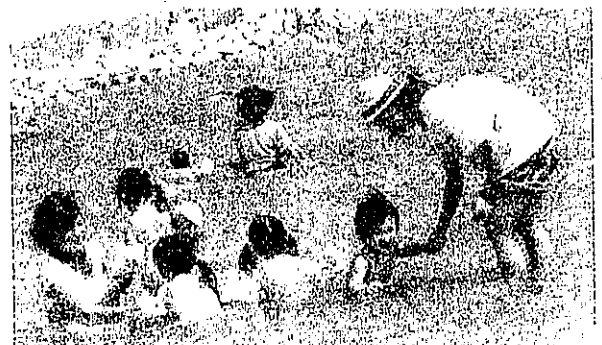
…今年も福島の子どもたちがやってくる…

★2012 夏休み保養企画

8月10日～20日

柏原溪谷キャンプ場(3泊)
県立屋島少年自然の家(7泊)

今年も1歳から15歳まで30名の子どもたちと10人の保護者、計40名を福島から迎えます。



★すべてボランティアのご協力により運営しますが、バスの借り上げ料や食費など約200万円がかかります。あなたのご支援を心よりお願い申し上げます。

★募金箱を置かせて下さるお店も大募集中!

